

伝統文化学習とボランティア活動支援

平成27年度 京都鴨沂会文化教室履修内容

教室名	茶 道	華 道	謡 曲
講師名	真継 宋美	木平 珠影	池田富美子
4月	風炉 盆略点前 千歳盆点前	いけばなの基本	遊行脚 西行桜
5月	風炉 棚薄茶点前	薬物をいける(杜若、あやめ)	通小町 東北
6月	立礼 薄茶点前 花寄之式	花の水揚げを体験(あじさい)	善知鳥 斑女
7月	立礼 平茶碗 洗い茶巾	水をいける	葵上 飛鳥川
8月	夏休み	夏休み	夏休み
9月	立礼 薄茶点前	お月見の花	葛城 松虫
10月	風炉中置 五行棚の扱い	秋の七草	野宮 六浦
11月	炉 棚薄茶点前	正月飾り	河漕 箆
12月	炉 棚薄茶点前	正月花のお稽古	竹生鳥 舟弁慶
1月	初釜 濃茶 薄茶 点心	初いけ	千手 鶴亀
2月	炉 筒茶碗 しぼり茶巾	花束・コサージュ	蟻通 源氏供養
3月	炉 入子点	ひな祭りの花・折り紙	小督 藤戸

平成27年度 京都鴨沂会文化教室課外活動

教室名	茶 道	華 道	謡 曲
講師名	真継 宋美	木平 珠影	池田富美子
4月		ホームライフみささぎ	春の会
5月		ホームライフみささぎ	
6月		ホームライフみささぎ	薪能
7月		ホームライフみささぎ	
8月		ホームライフみささぎ	
9月	留学生伝統文化体験学習会	留学生伝統文化体験学習会	
10月	風炉中置 五行棚の扱い		金剛流定期能
11月	外国人伝統文化教室	フェスティバル準備	秋の会
12月	留学生伝統文化体験学習会 外国人伝統文化教室	京都環境フェスティバル 留学生伝統文化体験学習会	
1月	外国人伝統文化教室	初いけ	
2月	外国人伝統文化教室 老人ホームグランデ山ノ内お茶会	外国人伝統文化教室	
3月	外国人伝統文化教室	外国人伝統文化教室	金剛流定期能

地域活性化に資する自主的グループ活動

文化教室学習効果を地域に還元し 地域活性化に資する自主グループ活動にはボランティア活動支援金として経費の一部を支援した。

鴨沂会・花トークの集い ボランティア十八名

「京都環境フェスティバル二〇一五」 出展

主催…京都府他

日時…平成二十七年十二月十一日～十三日

場所…京都パルスプラザ 京都市伏見区竹田

参加来場者…三〇、〇〇〇人

出展内容…私達は不用品の活用をテーマに稲わらで作った正月飾りと残った花材を活用した迎春用グッズを出展し、来場者の皆様に喜んで頂きました。亦、鴨沂会の方々がご来場下さいまして、御励ましを賜り、深く感謝申し上げます。同窓会の皆様様に厚くあつく御礼を申し上げます。



高齢者福祉ボランティア活動の推進

本会は、ボランティア活動の要請を、本会文化教室、鴨沂会館利用者その他のボランティアグループへ伝達し、ボランティア活動の調整をしています。

本年度は、本会に要請のあった高齢者福祉施設及び病院へボランティアグループを二十回派遣しました。ボランティアグループ代表者は、活動内容を記した助成申請書と活動報告書を提出して、ボランティア活動助成委員会が作成した基準に基づいて助成費を提供しています。

矢島 芳枝

「ボランティア活動記録」

鴨沂会華道教室 ボランティア一名

木平珠影によるいけ花指導五回

洛和会ホームライフみささぎ

①平成二十七年四月二十六日 受講者 六名

基本いけ花を実習し、自由にいけ花を楽しまれ、そのお手伝いをする。矢島芳枝理事が参加した。

②平成二十七年五月三十一日 受講者 十名

いけ花を通じて心身の活性化と楽しいひとときを提供する。五月の花材八種を用いて、和洋の自由いけ花を楽しみ、それぞれの感想を話し合いリフレッシュした。次回への改善点など皆で相談した。

③平成二十七年六月二十八日 受講者 十一名

いけ花を手がかりに、充実した日々を楽しむ。和洋八種の生花を用いて、大作品や一輪ざしなど、各自の自由花と基本いけ花の勉強に時間を忘れて熱中し、「家へ帰

つてまた、勉強します。」との事。花の持つ不思議な力に感動するひとときであった。

④平成二十七年七月二十六日 受講者 八名

花をいけ乍ら、ものづくりの面白さと友達づくりの楽しさを体験して、月一度の集りの成果が感じられた。夏らしい姫ガマを主体に菊、あざみ、リンドウ、夏はぜで季節感を味わう。

⑤平成二十七年八月三十日 受講者 十名

いけ花は、季節を先どりするものなので、残暑の裡、秋の花を勉強したいと考え、秋の七種のよせ挿しの勉強をした。

ミモザ^{アンサンブル}(合奏グループ)

⑥東九条特別養護老人ホームのぞみ

平成二十七年四月二十五日 ボランティア 四名

四月お誕生会で訪問演奏を行いました。グループミモザのメンバーは、ヴァイオリン・声楽(ソプラノ)・クラリネットの三名とピアノの一名で、他の老人施設へも出向いております。当日は車イス等で二十数名が参加され、「Happy Birthday To You」に始まり、「花」「おほろ月夜」「この道」「麦の唄」「おもいでのアラブム」「ハンガリー舞曲」「幸せなら手をたたこう」を共に聞き、歌い、手拍子で交流しました。会場(集會室)のマイクの設備、ピアノを使用し、集中して楽しい時間を過ごし

ていただけたようで、私共も心が暖かくなりました。また、このような機会をいただけたら、幸せです。ありがとうございました。また、理事の矢島芳枝先生の同行がかない、心強いかぎりでした。

⑦医療法人 桃仁会サテライト

平成二十七年七月七日 ボランティア 六名

特定老健桃寿苑の七夕会で訪問演奏を行いました。ミモザのメンバー三名(ヴァイオリン、ピアノ、ソプラノ)に加えて、滋賀県より、よし笛グループ三名と合同でなごやかに進みました。集會室に二十名程の方々がお元気に居られ、よし笛の「森に行きましょう」や「野に咲く花のように」の時には、打楽器で上手にリズムをとられ、感心しました。ピアノはモーツァルトの「キラキラ星変奏曲」、ヴァイオリンは、カヴァティーナの「ラフ」。ソプラノは「雨ふりお月」と「みかんの花咲く丘」を演奏し、大きな拍手をもらい、アンコールを所望されたので、「ハンガリー舞曲NO.5」を聞いてもらいました。また来たくださーいのお声かけもあり、私共もうれしくおいとましました。

⑧高齢者福祉総合施設バプテストホーム

平成二十七年九月二十六日 ボランティア 五名

粟田デイサービスセンターに於いて、敬老の日お祝音楽会を行いました。プログラムの「水色のワルツ」「見上げてごらん夜の星を」「旅愁」「星影のワルツ」「月の

砂漠」などの歌、チャルダッシュユラの「ヴァイオリン曲」
「ピアノによるわらべ歌アレシ曲」、リコーダーソロ、
アンサンブルによる「ヘンデル他の曲」を演奏し、多大
な拍手や「涙が出た」という感想をもらうことができ、
私たちもとてもうれしく思いました。また、職員の方た
ちも聞きほれたと言われ、また、来てね！との声に送ら
れ、おいとましました。是非再度うかがいたいと感じま
した。

⑨ 東九条特別養護老人ホームのぞみ

平成二十七年十月二十四日 ボランティア 四名

十月お誕生会の御祝音楽会を行いました。「Happy
Birthday To You」職員の方が数名にプレゼントを渡さ
れ、「蘇州夜曲」ソプラノ、「花」ソプラノリコーダー、
「エリーゼのために」ピアノ、「チャルダッシュ」ヴァイ
オリンの演奏をし、みなさんと「虫の声」、「村祭」、「幸
せなら手をたたこう」を歌い手拍子をもらいました。入
所者職員さんで、四十と名位参加され、次のリクエスト
曲をもらってうれしくお別れました。

⑩ 琵琶湖病院認知症病棟 ボランティア 六名

平成二十七年十一月二十六日

訪問演奏 視聴者三十名位

電子ピアノを運び入れ、ピアノ・バイオリン・声楽と
よし笛グループ六名で、「エリーゼのために」、「チャル
ダッシュ」、「あざみの歌」、「森へ行きましよう」、「夜明

けの歌」などを演奏し、「村祭」、「もみじ」、「証城寺の
狸ばやし」などを共に歌い、すず、手拍子をたたいても
らいました。作業療法士の方が、クラシックの生の演奏
に聞き入っている姿を見てうれしかった。拍子とりで参
加できたのがよかったと喜んでもらい、熱い交流ができ
ました。私共も、本当に行つてよかったと感じました。

第三錦林小学校PTAコーラス

⑪ デイケアセンター海ぶどう ボランティア 四名

平成二十七年五月二十五日

歌唱演奏と指導 来所者 八名

海ぶどうは認知症対応型のデイサービスセンター
で、当日は八名の方が参加されました。事前の打ち合わ
せでご希望の曲を何曲かお聞きしておりました。今回の
プログラムは作曲された年代順で組みました。「夏は来
ぬ」、「荒城の月」、「我は海の子」、「富士山」、「雪」、
「海」、「故郷」、「朧月夜」、「証城寺の狸ばやし」、「あめ
ふり」、「隣組」、「青い山脈」、「ここに幸あり」、「仰げば
尊し」（本当は一番古い曲です）感動したのは、これら
の曲を全部しっかりと歌われた方がおられた事でした。
共に歌う事の楽しさは格別です。

⑫ コープ葵湯デイサービス ボランティア 四名

平成二十七年九月十四日

歌唱演奏と指導 来所者 十四名

歌った十四曲は、「朧月夜」、「夏は来ぬ」、「里の秋」、「雪」、「旅愁」、「紅葉」、「浜辺のうた」、「手のひらを太陽に」、「見上げてごらん夜の星を」、「村祭」、「証城寺の狸ばやし」、「たき火」、「小さい秋見つけた」、「故郷」、約三十五分から四十分位の演奏でした。歌詞を見て、皆様がしっかり歌って下さって、こちらもとても気持ちよく、楽しく歌う事が出来ました。終わった後、一緒にお茶を頂き、色々お話す事がとても楽しかったです。

日本民謡梅若流京都梅若会朝優支部

⑬京都市本能寺特別養護老人ホーム ボランティアア七名

平成二十七年八月二十八日 来所者 約四十名

民謡、童謡、詩吟等全十一曲を歌いました。職員はじめ皆さんに歌詞を配布しましたので、知っておられる方は声を出して楽しく唄っておられました。会場全体が一体になったように大きな声で賑やかに、笑顔で、楽しい一時であったと思います。昔から口ずさんでこられた民謡や童謡に人気があり、一人で唄いたい方が前に出て来て知っている民謡を積極的に唄っておられました。又、佐渡おけさや九州炭坑節の踊りを先導に合わせて数人が楽しく踊っておられました。

⑭天神川ケアセンターそよ風 ボランティア 八名

平成二十七年十二月十五日 来所者 約四十名

民謡、童謡、詩吟等全十六曲を歌いました。職員はじめ

皆さんに歌詞を配布しましたので、知っておられる方は声を出して楽しく唄っておられました。会場全体が一体になったように大きな声で賑やかに、笑顔で、楽しい一時であったと思います。昔から口ずさんでこられた民謡や童謡に人気があり、一人で唄いたい方が前に出て来て知っている民謡を積極的に唄っておられました。又、九州炭坑節の踊りを先導に合わせて四～五人が楽しく踊っておられました。尚、詩吟や民謡を習いたいと言う方が二名おられました。



ソングバード 訪問歌唱演奏

⑮老人ホーム京都エクセレント衣笠

平成二十七年九月二十九日 ボランティア 十一名

今日は、部屋いっぱいのお老人が出席して下さいました。最初、私達ソングバードは、年令九十才から五十才代まで歌の好きな人達が一ヶ月に二回集まって歌を楽しむ仲間だと紹介しました。そして、虫の声、ふじのやま、ふるさと、月の砂漠、荒城の月、紅葉、赤とんぼ、夕焼け小焼けの八曲を皆で斉唱しました。皆様、歌が大好きというご様子で、大きな声で歌って、楽しんでられました。時折、赤とんぼを歌いながら、涙を流してられる人もい

ました。最後の夕焼け小焼けでは、全員で手をつなぎながらの斉唱を終えると、アンコールの赤とんぼの歌声が部屋中響き、感動的な歌の会でした。

⑬日本バプテスタ病院故郷の家

平成二十七年十二月十九日 ボランティア 二名

立派なホールがあり、ソロもできるグランドピアノがあったので、ピアノのソロと、うたのソロ、最後に皆でお正月を歌っていただきました。ランチパーティーコンサートという事もあり、いっぱいのごちそうを目の前に、時には静かに、時には一緒に口ずさんでいただいたりして、楽しくコンサートを終える事ができました。

花トークの集い紫明庵

⑭アミーユレジデンス京都羽束師

平成二十七年十月三十一日 ボランティア 十名

依頼団体の提案で、「牛乳パックに色紙を用いて花器をつくる」作品を全員が制作し美しい飾り花が完成しました。比較的、不自由度の高い方々のご参加で心配でしたが、皆様がいきいきと製作され大層楽しんで頂けました。至らぬ私の説明による製作でしたが、新しい方法も教えて頂き、もともとと勉強せねばと反省して居ります。かけがえのない機会を与えて下さいました鴨沂会の皆々様に深く感謝申し上げます。

京都シティーフィル合唱

⑮日本バプテスタ病院

平成二十七年十二月十九日(土) ボランティア 六十名

クリスマスコンサートは、毎年恒例の大切なキャロリング。みんなで病院にいらっしやる方々へ歌をプレゼントするサンタクロースになりました。

「デュリュフレ・レクイエムⅡキソエ」、「ああ、ベツレヘムよ」、「あらのはてに」、「あめにはさかえ」、「里の秋」、「冬の夜」、「さやかに星はきらめき」、「ハレルヤ」(メサイヤ)、「きよしこの夜」を演奏しました。

ローズの会

⑯東九条特別養護老人ホーム

平成二十八年一月二十三日 ボランティア 三名

四十名が出席され、プログラム配布してお誕生日会とコンサートをを行いました。外国の曲は原語、ドイツ語、イタリア語を一番に唄い、二番、三番を日本の歌詞にした。原語は意味がわからないので反応が今一つだったが、日本の歌詞になると一斉顔が上がり、こちらを見る。お昼ご飯を食べて眠くなった人が、一人いた。「かやの木山の」を唄うと「うん うん」とうなづいてくれた。「松島音頭」のリズム感ある伴奏が鳴り出すと、椅子の手掛けをパンパン叩いてリズムをとり、嬉しそうな表現をする。唄い出すとジーと聴く。「マンマを唄います」と

司会すると、「マンマよ！マンマよ！」と眼を輝かせていたが、自分の思う「マンマ」とはちがっていたのか、表情が止まっていた。ピアノストが色々な曲を弾くと、背中に向かつて「聴いてるで！聴いてるで！」と声を掛ける。歌の好きな人が多く、「ふるさと」を皆でユニゾンで唄い、マイクをまわすとはりきって歌った。元氣な歌声にびつくりした。「又、半年後にお願います。」とリクエストが来ました。老人ホームの演奏会は、松田、毛利は初めてで、よい経験になりました。おじいちゃん、おばあちゃんがとても可愛かったです。

京都鴨沂会茶道教室

⑳ 有料老人ホーム グランダ山内

真継 宗美

平成二十八年二月十二日 ボランティア二名と矢島理事「抹茶一服で裏千家茶道をたのしみましょう」

京都市内のボランティアは始めてでお茶の心得のある方もおいでのこと。楽しみと不安半分で伺いました。扇面「茶 長寿の友 鵬雲斎大宗匠」白梅 曙椿、花入朝日豊斎造 猿の香合を飾り、殆どの方が拝見をして下さり、嬉しくなりました。毛利が盆略点前を、グランダで用意の鶴屋芳信の菓子と北川半兵衛の薄茶で、点出しで一服、その後、盆略点前を各自で経験者の方は楽しくそに教えながら、車椅子の方、流動食の方は別に職員の方が、私はそこまで理解していなかったので反省しまし

た。皆様に喜んでいただけたかなと思ひながら、ボランティアに参加できたことに感謝の一日でした。

留学生伝統文化学習と生活適応支援

文化教室で培った伝統文化の知識と手技をコミュニケーションツールとして外国人留学生に対する日本伝統文化の教育に寄与し、生活適応上の指導助言など留学生支援により国際理解を深め地域社会の活性化へ貢献することを目的として、外国人大学院留学生を文化教室に受け入れ、華道教室および茶道教室で個別指導を行い、授業料の一部を支援した。公益財団法人AFS日本協会京都支部の高校留学生を対象とした伝統文化体験学習会を開催し、さらに、今年度は、MIRAIプログラム実施団体であるAFSが受け入れた大学・大学院留学生への伝統文化体験学習会の開催および鴨沂会員による留学生のホームステイを実施した。

「外国人のための日本伝統文化教室」

茶道教室 裏千家 講師 真継 宗美

受講者…ソフィ・ヂュマン（フランス女性）

日仏学館講師、京都外国語大学講師

授 業…平成二十七年九月十七日 盆略点前の指導

受講者…チェン・イアン・セイデイ（アメリカ女性）

同志社大学大学院留学生

授 業…平成二十七年十一月～平成二十八年三月までの五回

炉薄茶点前と初釜の指導

華道教室 草月流 講師 木平 珠影

受講者…チェン・イアン・セイデイ

授 業…平成二十八年二月・三月の二回

生け花指導

「日本伝統文化体験学習会」

公益財団法人A F S 京都支部顧問 荒木 泰子

ここ数年秋に私どもA F Sの高校留学生がお世話になり、昨年十二月には外務省が初めて招待したM I R A I プログラムの、ヨーロッパ、中央アジア諸国の大学、大学院生（一五〇名来日、うち三名が京都に三日滞在）も体験させていただいた茶道、華道、書道の教室。一流の先生方に文字通り手取り、足取りで教えていただき、生徒、学生たちに深い印象を与えました。高校生の中には華道の剣山が欲しいとか、茶道具一式を持って帰れたらいいのにと言うものも出ました。お茶の味はいま一つアピールしなかったようですが、呈茶までのしつらえ、プロセスも詳しく教えていただき、ふくさ裁きに悪戦苦闘し、足のしびれに音をあげながらも楽しませていただきました。

書道は筆の持ち方からご指導いただき、それぞれ好きな漢字を色紙に書いて、先生の落款つきで持ち帰らせていただき、大喜びでした。

華道はほぼ自由に生けさせていただきましたが、先生の褒め方のお上手なことに感心しました。同じように教えていただきましたが、受け止め方にはやはり年齢の差もあつてか、大学生・院生たちのほうが理解は深かったようで、先生方も少しは教え甲斐を感じていただけたかと思えます。私どもA F Sはお世話になるばかりですが、この事業を今後とも続けていただけますことを切望しております。

A F S (American Field Service)

A F Sは、世界大戦中に傷病兵の救護輸送に携わったアメリカのボランティア組織American Field Service（アメリカ野戦奉仕団）の活動を起源に持ち、世界的な広がりを持つ組織です。国際本部をニューヨークに置き、現在、A F Sの加盟国は約六十か国、交流国は一〇〇か国以上に及びます。日本でのA F S活動は、現在では日本全国八十の支部で留学生の受け入れ、派遣、各種交流活動を行っています。A F Sの活動は、日本および世界各国のボランティアによって支えられ、留学生の派遣、受入れなどのプログラムや、各種のイベント、交流活動の中心となつて活動しています。A F Sで留学生を受け入れるホストファミリーは、すべて金銭を受け取らないボランティアの家庭です。

外務省 M I R R A I プログラム

(Mutual-understanding, Intellectual Relations and Academic exchange-Initiative)

外務省の「対日理解促進交流プログラム」の一環として、欧州・ロシア・中央アジア・コーカサスから、将来各界で活躍が期待され、また対外発信力のある大学生・大学院生一五〇名が来日し、日本の政治、社会、歴史及び外交政策に関する理解促進や日本の政治、社会、歴史及び外交政策に関する理解促進や日本の魅力等の積極的な発信を目指し、平成二十七年十二月十五日から二十二日の日程で次のような三項目のプログラムが行われました。

- (1) 日本の強みのみならず課題も含めた日本の現状を理解してもらうためのセミナー及び大学生との交流を実施。
- (2) 教育・研究機関、先端・伝統産業、文化承継地への訪問、大企業への視察及び関係者との意見交換。
- (3) 日本各地へのホームステイの際に、地方自治体、地場産業、歴史学習施設等への訪問・視察及び関係者等との意見交換やワークショップ等の交流行事及び伝統芸能等の体験型行事に参加。

「高校生留学生伝統文化体験学習会」

日時：平成二十七年九月二十六日（土）

会場：鴨沂会館新館一階和室、会議室および談話室

参加者：留学生五名（米国男子生徒、ハンガリー女子生徒、ドイツ

女子生徒二名、ベルギー男子生徒）

日本人高校生八名、AFS 日本協会京都支部員

授業：草月流 華道 「重陽の節句に菊を楽しむ」

「自由花・秋の美しさを楽しむ」

講師 木平 珠影 助手二名

裏千家 茶道 「益略点前の実習と呈茶」

講師 真継 宗美 助手四名

書道 「基礎から創作へ」

講師 橋爪蒼苑

鴨沂会館新館一階談話室において矢島理事の司会で会長の開会の挨拶に引き続き、華道、茶道、書道の講師および助手をつとめるボランティアの文化教室員が紹介され、留学生とAFS日本協会が自己紹介を行った。

十三時五十分から一〇一号室において 全員で書道を体験し、十四時三十五分から十六時まで新館一階会議室と和室において華道と茶道教室の講師が伝統文化の説明をし、助手の手助けで実技指導を行った。授業終了後、談話室に留学生がそれぞれ作品を持って集まり、留学生の体験学習発表に講師が評価と感想を加えて、伝統文化教室員および本会理事とも相互交流を図った。

「いけ花教室に留学生をお迎えして」

木平 珠影

この日の参加者は留学生男子二名女子三名、附添として

のボランティアの方々を含めて十四名となりました。アメリカ、ハンガリー、ドイツ、ベルギーの留学生と日本の高校生が国境を越えてのお友達として話ながら、実に鮮やかな作品をいける高校生には驚きました。

お稽古の順序の最初は基本の勉強として、花型図による基礎いけ花を学び、そ

の後、「重陽の節句に菊をいける」、「自由花・秋の美しさを楽しむ」をテーマとした各自の自由作品でいけ花を楽しんで頂き、伝統のいけ花と自由作品とをいけくらべて頂いた。菊は日本では種類も多さまざまな場所で用いられ、しかも高貴な花として扱われていること、香りのよさも大切な花でありながら、生活の花として一年を通じて愛用される貴重な花材であることに理解を深めながら、いけ花をたのしんでいただきました。

今回のいけ花のお稽古には、会員の皆様にご寄贈頂いた花器等も使用し、若い留学生の楽しまれるご様子に、花でも陶器でも美の世界には国境が無いと改めて感動しました。



「盆略点前でご自服を」

真継 宗美 六名

高校留学生の茶道教室のボランティアは同じ季節に三回目、出席者は、アメリカ、ハンガリー、ドイツ、ベルギー、五名 日本人高校生八名が参加され、名前までいただきましたのに、四十分二回の指導では、充分のことは出来ず残念に思います。高野さんの棚薄茶点前を見学、和菓子、呈茶で一服、その後、各自で盆略点前、帛紗さばきから茶を入れ茶室でお茶をご自服、お味は如何だったでしょう。その時の皆様の顔の表情が一生懸命で、お茶をご自服の後の笑顔に接して、私も幸せを頂きました。水屋は教室の五名（八十二歳）の手伝いのお陰、総で感謝です。些細なことから、茶道を理解していただき、次の一步と羽ばたいていただきたいと願っています。

軸 「秋露白如玉」

有馬頼底筆

花 すすき 秋海棠

ほととぎす



秋明菊

雁がね草他

宋全籠

香合 法隆寺古材（百済観音堂落慶記念品）

「基礎から創作へ」

橋爪 荅苑



平成二十七年九月二十六日に開催された高校留学生書道体験学習会は、留学生及び日本の高校生も沢山参加していただき、楽しい時間を過ごせました。初めて筆を持ち、初

めて引く線、どんな感触だったのだろうか、また墨の香りはどんなものだったのだろうか、そんな事も聞ける時間もないまま、慌ただしい時間が過ぎてしまいました。先ずは線の引き方（直線及び曲線）を練習してもらい、用意した一字で意味をなす漢字の見本を見せ、その中から自分が書きたい文字（意味）を選んで、

半紙に練習をし、最後にはそれを団扇に仕上げ、お土産に出来るようにしました。今回は日本の高校生の参加が多かった為に、少し目の届かない状況が生じたかと思えます。留学生一人に対し一人の日本の高校生が一人つくような感じの方が望ましい気がします。留学生の作品は、自由で、伸び伸びした線の仕上がりになっていたと思います。

「大学院留学生伝統文化体験学習会」

日時：平成二十七年十二月十九日（土）

十三時半～十五時

会場：鴨沂会館三階和室、新館一階会議室および談話室

参加者：外務省MIRAIAプログラム参加大学

大学院留学生三名 ルーマニア女子学生、英国男子学生、

タジキスタン女子学生

A F S 交換高校生 二名

ドイツ女子生徒（京都橘高校 紫野高校 留学生）

A F S ボランティア 三名

授業：草月流 華道「基本のいけばな・フリースタイルのいけばな」

講師 木平 珠影 助手二名

裏千家 茶道「盆略点前の実習と呈茶」

講師 真継 宗美 助手四名

書道

「好きな漢字を書く」
講師 重村亜紀子

「基本のいけ花とフリースタイルのいけ花」

木平 珠影

基本いけ花を説明し、実際各自でいけ込んでいただく。全くいけ花を知らない留学生が、とても簡単にしかも美しくいけあがることを実感して、日本のいけ花の簡単さと面白さを学ばれ、あらためて日本のいけ花の面白さを理解され、有意義な「ひととき」であった。



「盆略点前と呈茶」

真継 宗美

大学院留学生の茶道体験学習のボランティアは初めての経験です。冬の季節、三階八畳の和室に電気ですが炉があります。今回は炉手前を見学いただき、各自盆略点前を体験していただき、正座が大変で、毛氈を敷きました。大学生 三名 高校生 二名 付添 二名 鴨沂会 矢島

様他三名 十一名で八畳では、狭く感じました。炉の茶席はじめてのようであ

の間、炉にも興味を持たれたようです。毛利さんの手前を真剣に拝見され、点だしと和菓子で一服、各自盆略点前、帛紗さばき、茶筌で茶をたてるのは初めてのようであ

た笑顔に安堵しました。

軸 「無事」画賛「江戸時代の茶筌売
相国寺管長 有馬頼底筆
花 加茂本阿彌椿 柴蘭の実 万両 八代高田焼壺
香合 狸 信楽 高橋楽斎造

「好きな漢字を書く」

重村亜紀子

まず、大学院留学生が熱心なのに、とても驚きました。また、京都鴨沂会の皆様の取り組みの素晴らしさを感じることが多かったです。私としても、とても貴重な経験をさせていただき、大変感謝しております。私は、書道を担当





りましたが、京都鴨沂会の益々の発展と皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。

MIRAIプログラム大学院留學生のホームステイ
「平成二十七年十二月十八日サブリナが我が家にきました」

西村 和子

AFSが日本政府外務省の監修する「対日理解促進プログラム—MIRAIプログラム」に参加を要請され、京都支部はイギリス、ルーマニア、タジキスタンの三名の大学

させていただき、様々な書体で好きな漢字を書くということにチャレンジしました。そして、留学生に書道の楽しさを母国に持ち帰っていただきたく、色紙と团扇に清書していただきました。私自身の反省としては、

もう少し書の基礎基本、基礎点画の筆使いの紹介をしてもよかつたのではないかと考えています。最後まで

院生を受け入れました。たった二泊三日の滞在でしたがこの試験的プログラムが成功を生むなら二〇一七年から本格的に「MIRAIプログラム」が発足するそうです。

さて、我が家に来たサブリナは二十一歳のタジキスタン人女性。とてもフレンドリーで初めての日本に興奮状態で古いだけの我が家をとて喜んでくれ部屋に入ってもスカイプで友人とやり取りしている声が大きく響いておりまして。私の拙い英語も彼女は聞き取ってくれ私も楽しい時間を過ごせたと思っております。ただ、彼女は日本の物価の高さに驚いた様子で今度日本に来るときはたくさんお金を持ってくると申しておりました。(彼女が家族に買った土産はチョコボールと漫画のみ) 彼女とは今でもとても良い関係ができGメールで情報交換できています。「国際交流は草の根から」を実感できた三日でありました。

